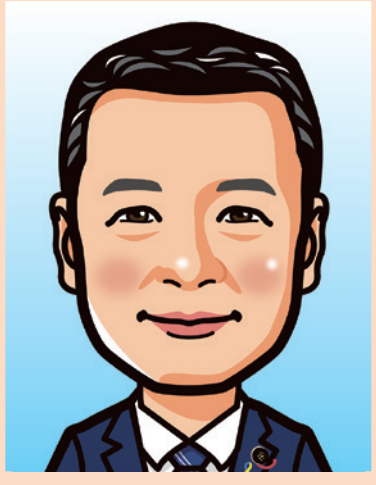
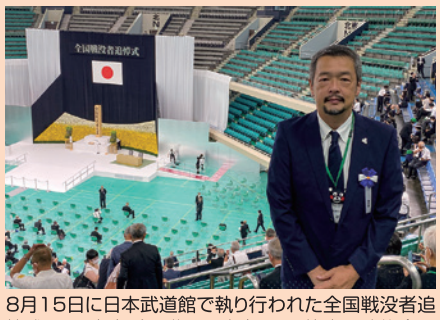
まっとうな市政を目指す

熊本市議会議員 吉村けんじから皆さまへ

ごあいさつ



77年前、私の父方の祖父は、38歳で徴兵にとられ、わずか一月後、台湾沖で海の藻屑と化しました。妻と四人の子どもを残し、さぞかし無念であったと思います。祖母は生前、その人柄以外は多くを語らず、どのように亡くなったかは父も叔父たちもわからないまま戦後、家族で必死に、歯を食いしばって生き抜いてきました。戦死後、木箱に石ころを入れられただけの、形だけの骨壺を国から突きつけられ、それを抱えたその時の祖母を思うと本当に胸が痛みます。その後祖母は4人の子どもたちを立派に育て上げ、96歳で鬼籍に入りましたが、もし戦争が無かったとすれば、彼女はどのような人生を歩んだのかは誰にも分かりません。しかしもっと笑顔溢れる人生を送れたに違いありません。私は熊本市議会で議席を預かる者として、常に心にあり、肝に銘じていることは「2度と戦争をしない」「こどもたちを飢えさせない」。国会議員であろうと地方議員であろうと全ての政治に関わる者は、主義主張は違えどもこの2点においては不変でなければなりません。選挙に勝つために、反社勢力に取り込まれるような政治家であってはならないと最近のニュースをみて改めて思う今日この頃です。



8月15日に日本武道館で執り行われた全国戦没者追悼式に、天皇皇后両陛下ご臨席の元、熊本県遺族会の一員として参列いたしました。

沖縄県平和祈念公園にて戦争の悲惨さ無残さを再確認し不戦を誓いました。

令和四年 第三回定例会一般質問

吉村けんじ質問事項と答弁者　（詳細は市議会HPをご覧下さい→）

①旧統一教会系団体に対する名義後援について
（→政策局長・大西市長）

⑴名義後援を行った経緯と取消しの根拠
⑵他の関連団体等への名義後援や賛助会員について
⑶今後の市の名義後援に関して市長の見解と市長自身の当該関係団体との関りについて

②学校部活動の地域移行に関する提言について
（→教育長）

⑴提言の背景及び本市の部活動における問題点
⑵今後想定される課題、取組体制、地域の受け入れ先について
⑶教員の働き方改革の推進と提言に対する所見について

③台湾有事の際の避難民の熊本への受け入れについて
（→大西市長）

⑴避難民の熊本市への受け入れについて
⑵有事が起こらないために、市として出来ることについて

④ネオニコチノイド系農薬と食と人の安全について
（→農水局長）

⑴国で登録されているネオニコチノイド系農薬の種類と特性について
⑵本市におけるネオニコチノイド系農薬の使用状況
⑶自然への影響や健康被害の実態について
⑷本市における規制の必要性について
⑸農薬の正しい使用と環境保全型農業に対する見解について

8月9月の活動報告

長年、旧統一教会を取材しているジャーナリストの有田芳生元参議院議員に熊本市でその実態と政治家との関係性や問題点をご教授いただく。

沖縄県名護市にて辺野古新基地反対運動家中山吉人さんに一日かけて沖縄が抱える不合理や矛盾などのお話しをしていただきました。

普天間基地視察

玉城デニー沖縄県知事再選

市政に関するご意見やご相談、また地域のご要望はお気軽にどうぞ！

熊本市議会議員（北区選出）

吉　村　けんじ

〒861-5513
熊本市北区鶴羽田町1041-120

連絡先【市民連合議員控室】
TEL 096（328）2650
FAX 096（324）7777
メール yoshimurafamily6@gmail.com

臥薪嘗胆

☆親が様々な理由で育てられない赤ちゃんを匿名で預かる「こうのとりのゆりかご」を慈恵病院が国内で初めて設置して十五年。その粘り強い取組は多くの子どもと母親の命を救ってきました。その間、試行錯誤を繰り返されてきた関係者の皆様方のご苦労を思うと本当に頭が下がります。ゆりかごにはこの十五年で日本全国から百六十一人の命が預けられました。救われた命もある一方で、出自を知る権利保障、医師不在の孤立出産、出産後の長距離移動等多くの課題が残されています。その現状を鑑み新たな試みとして病院の特定職員にのみ身元を明かし、出産する「内密出産」を独自に導入し、九月末現在で、七例を公表しています。しかし、法整備など国や行政の体制は不十分で、熊本市と病院側が協議を重ねており、課題解決に向け大西市長も国に対して鋭意働きかけを行っています。この取組は熊本だけで解決できる問題でない事から、全国市長会等で輪を広げる動きを積極的にしている事は私も評価し、先日も更なる努力をお願いしたところです。

いずれにせよ、「命」の問題なのです。皆さん、一度ゆっくり考えてみませんか？